

いろいろな方々が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、  
いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

## 自然を守る作業を体験

### 埼玉県立いずみ高等学校

10月28日(水)に生物サイエンス科2年生(40名)が三ツ又沼ビオトープで実習を行いました。

2班に分かれて、サポーターと一緒に外来植物であるマグワ(中国原産)の伐採やセイタカアワダチソウ(北米原産)を抜き取りました。



## 自然を守る人づくりを考える野外実習

### 学習院大学

12月13日(日)に小学校教員を目指す教育学科1年生の皆さん(30名)が、授業の一環で保全管理作業を行いました。ヨシ刈りや竹伐りの後は、サポーター、パタゴニア東京・神田店のスタッフや自主的に参加していた埼玉県立いずみ高校の生徒の想いを聞き、「自然を守るための人づくりの大切さ」について考えました。



## 自然の林の再生に協力

### 株式会社 丸電

12月6日(日)、社員有志の皆さん(23名)が環境サポーターの説明のもと、自然の林を再生するために、増えすぎた竹の除去作業を行いました。



## みんなで話し合っています

### 保全調整ミーティング

10月30日(金)、18時半より環境団体やサポーターが集まり、三ツ又沼ビオトープのヨシ原の保全管理のあり方や、沼の水質について話し合いを行いました。(場所 上尾市自然学習館)



## 【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

## 【環境サポーター大募集!】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集していません(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!

## 荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物\*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

\*外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

川島町立出丸小学校と上尾市立太平中学校 科学部の皆さんが、育てたハンノキや荒川の草花を三ツ又沼ビオトープに植えました。

### 外来植物を抜き荒川の草花を植える

### 川島町立 出丸小学校

12月15日（火）、外来植物を抜いてから、学校で育てていた荒川の草花のキンミズヒキとチカラシバを植えました。また、6年生は協力して、増えすぎた竹をたくさん切りました。



### ハンノキを調べる！植える！

### 上尾市立 太平中学校 科学部

12月25日（水）、2年間育てたハンノキの植え戻しや、以前に植えたハンノキの生育状況を調査しました。木の高さを測る専用の道具を使って、一本ずつ高さを測ったり、ミドリシジミの卵の数を数えたりしました。



### 行ってみよう！ やってみよう！ 耳をすまして

冬の三ツ又沼ビオトープでは、耳をすますと冬鳥たちの声が聞こえてきます。「ヒッヒッヒ」「カッカッカ」と鳴いているのは、ジョウビタキ。こうした冬鳥が、海をわたり、毎年訪れるように、サポーターや学校、団体の皆さんが自然を守る活動をしています。

学校や企業、団体で自然観察会や自然を守るための活動がしたい！という方は、サポーター事務局までご連絡ください。活動のお手伝いをいたします。

